



### 文化豊島に一偉容

## 豊島振興会館竣工す

### 空からの祝賀を織りませ落成式舉行

豊島公会堂について文化豊島に更に一偉容を添える豊島振興会館は工事関係者の努力と建設協賛会全役員のご協力により御尽力により工事は予定通りに進捗完成を見るに至りその落成式の盛儀が十二月二十六日厳粛裡に挙行された。当日は冬空もくつきりと晴れ上り、冬の陽は真新しい巨象の如き廠堂の屋根に映え、振興会館の誕生を飾る花輪、地上を埋め、祝賀のメッセージを銀雲に抱えて青空に乱舞する

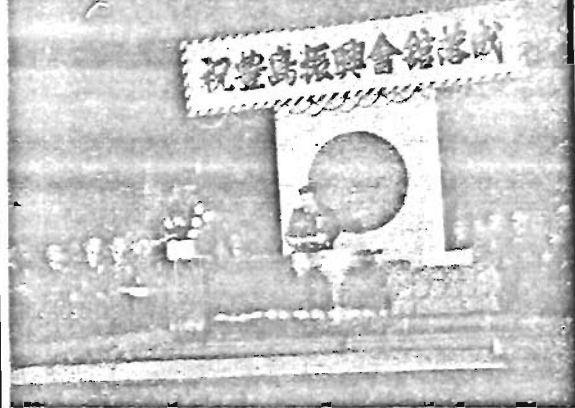
より、設計監督者小正秀吉氏工事施工者代表今西久雄氏に感謝状の贈呈が行はれ、終つて須藤豊島区長の挨拶が行はれた挨拶が行はれその式は最高潮に達して行つた。その後東京都知事代理春副知事、都議会議長代理佐々木都議、今泉区議会議長、東京都二十三区代表杉並高木区長、上原豊島振興会館建設協賛会々長の祝辭が相次いで述べられ田村区議会副議長、閉会の辭を以つて第一部の式を終了し引続いて祝宴に移りその喜びを御ち合い大塚、油袋三業地芸妓連の手捌き鮮かな舞踏と映画「舞子物」を観

賞し第一部全部の式典を終了  
 第二部は午後二時より西海区議会議員の開会の詞に始まり須藤豊島区長の挨拶が行はれ祝宴に移り田村都議の発声により声高らかに万歳を三唱の宴を終り、第一部と同様の余興を觀賞し午後五時頃豊島振興会館落成式典の全部の幕を閉じた。

茲に都内屈指の文化の殿堂を誇る公会堂と並びその偉容誇り得る振興会館の竣工は文化國家達成の途上に於ける國に寄与する大いなる功績であることは言を俟たない所であります。今後の運営に多大の期待を寄せらるる所でもあります。又ここに於てあります。



写真説明  
 上祝辞奏上の儀  
 中挨拶を行う須藤区長



下右振興会館の全景  
 下左感謝状贈呈



## 昭和二十九年臨時豊島区議会

十二月十九日開かる

### 第 1 回

午前十時三十分今泉議長開会を宣し、昭和二十九年第一回の臨時会が開催された。先づ須藤区長の議会招集の挨拶があつて後日程に入る。

日程第一 東京都豊島区選挙管理委員三名選挙の件  
 本件は、議長の指名推せん左記三名が選出された。  
 豊島区池袋三丁目一、二、六番地(染物業)  
 佐久間市藏(明治二十六年五月六日生)  
 豊島区高田本町二丁目一四七八番地(写真業)  
 後藤 富郎(明治三十八年八月十七日生)  
 豊島区池袋三丁目一四四九番地(会社重役)  
 長繩 源(明治三十二年五月十五日生)  
 日野 三郎(東京都豊島区選挙管理委員補充員三名選挙の件)

本件は前の選挙管理委員の選出方法を同様、議長の指名推せんを依つて、次の順位に依り三名が選出された。

第一順位 豊島区池袋一丁目八二一番地(茶商)  
 恩田初太郎(明治三十八年十月十八日生)  
 第二順位 豊島区東池袋三丁目十三番地(僧侶)  
 島野 敬清(明治三十一年四月九日生)  
 第三順位 豊島区高松三丁目十五番地

各種委員会開催状況  
 昭和二十九年一月一日  
 至昭和二十九年十二月三十一日

本会議	七回
総務委員会	九回
財政委員会	五回
自治振興委員会	三回
厚生委員会	三回
文教委員会	三回
商工委員会	三回
建設委員会	三回
委員長会	四回
各派幹事長会	五回
その他法律条例に依る	六回
各種委員会等	六二回
計	一四四回

訂正  
 新年区民お知らせの二頁  
 区民税についての申告方法中  
 一月一日現在に於て区内に  
 「事務所」とあるは一住所一  
 の誤りにつき訂正いたしませ

豊島区財政の現状について

豊島区財政事情の作成並びに公表に關する条例の定めるところにより本区の財政事情を次のとおり公表致します

まえがき

今回の財政事情の公表は、昭和二十九年四月一日より九月末日に至る年度上半期の財政の現状の概要を報告致し、区民各位の御理解と御批判により、区政発展の爲に一層の御支援御協力を願う次第であります。

予算の概要

昭和二十九年年度予算の編成に當つては、国家経済の安定と国際收支均衡回復の途途達成のため、国家予算一兆円の枠内に堅持による財政規模は国並に地方自治団体の財政運営の動向を方向づけ、本区に於ても、区独自の特殊性を破却することなく、而も区民生活の安定と福祉の向上を図り、以て國是に副ぐべく、不要不急、非効率的経費の整備統合により、重点的事業への傾注に努力し、経常費については、年間所要の必要最少限度に留めて、経費の節減に努めると共に、臨時的なもの、或は本区独自の事業については、爾後の確定財源を以つて追加計上致すこととし、一応年間予算として、総額四三七、七三二、九〇三円が三月十日可決成立いたしましたのであります。その後同三月二十七日第一次補正として、五四、九三〇、一九九円が可決されました。

(単位円) 予算推移の状況 (昭和29年9月30日現在)

Table showing budget details for '歳入' (Revenue) with columns for '科目' (Item), '当初予算額' (Original Budget), '補正予算額' (Corrected Budget), and '予算現額' (Actual Budget).

Table showing budget details for '歳出' (Expenditure) with columns for '科目' (Item), '当初予算額' (Original Budget), '補正予算額' (Corrected Budget), and '予算現額' (Actual Budget).

収入支出の概要

この財源の大部分は都支出金、振替道路復旧費収入並びに前年度事業繰越金で事業繰越金中六・三割繰越関係の繰越金については本年度交付金の繰越額を計上したのであります。以上当初予算の編成方針より、第一次及び第二次追加更正の今期間内における予算の概要を説明致しましたが、これ等二回の追加合算額一八〇、三七六、六七〇円を合計致しますと、今期公表時の最終

より、実収は前年に比して二ヶ月間の税収増が生じた結果でありまして、これに對しては一時借入金で以つて支拂資金に充當致しております。歳入の今期間内における収入総額は二六七、〇二二、八一二円でありまして、その根幹たる区税収入額は二一九、〇六七、五四一元で、予算額に對して四〇・一％で区の事務事業の大半が区税に依存している現在、これが収入の良否は直ちに区政運営の機能に重大な影響を及ぼすのであります。区税に次いで、都支出金であります。その収入状況は極めて低く、予算額一九二、〇八七、〇〇〇、四九六円に對して僅か八・九％の一七、二二六、〇七六円であり、その大部分は六・三割整備事業の校舎建設費、地買収費、事業の進捗によつて交付される関係上、事業完成後の後半期までに漸次収入される見込みであります。繰越金につきましては、予算額を上廻る収入状況を示しておりますが、これは前年度繰越金精算額の予算未計上によるものであります。その他一般財源に繰入される諸収入については概ね順調な収入状況を示しております。二、支出 歳出総額の五四、一％にあたる教育費は予算額三三、四、七二四、六六六円に對し、支出額一、三三二、三六一、六九六円と、その大部分は六・三割整備事業の支出であり、校舎建設は予期通りの進捗を遂行し、本区文教施設拡充に鋭意努力致しているものであります。

(単位円)

収 入 概 要

科 目	予 算 額	収 入 済 額	予 算 対 比 率
1. 区 税	297,106,422	119,067,541	40.1%
2. 公 営 企 業 収 入	7,500,276	5,109,995	68.1
3. 財 産 收 入	12,835,472	7,009,395	54.6
4. 使 用 料 及 金 入	192,870,496	17,236,076	8.9
5. 手 続 費 等 金 入	7,700,001	5,208,871	67.6
6. 寄 附 金 金 入	250,000	125,000	50.0
7. 繰 上 金 金 入	74,355,413	97,870,720	131.6
8. 繰 上 金 金 入	25,490,493	15,385,214	60.4
合 計	618,103,573	267,012,812	43.2

(単位円)

支 出 概 要

科 目	予 算 額	支 出 済 額	予 算 対 比 率
1. 議 会 費	20,807,120	8,935,783	42.9%
2. 区 役 所 費	133,574,943	61,749,627	46.2
3. 土 木 費	31,293,161	16,753,907	53.5
4. 教 育 費	334,724,666	132,341,696	39.5
5. 文 化 費	1,692,645	737,071	43.5
6. 民 生 費	14,724,548	8,160,553	55.4
7. 産 業 振 興 費	4,372,445	3,159,588	72.3
8. 地 方 振 興 費	2,630,880	1,826,530	69.4
9. 地 方 選 挙 費	1,187,655	423,213	36.1
10. 統 計 調 査 費	241,911	52,048	21.5
11. 監 査 委 員 費	608,140	256,060	42.1
12. 徴 収 費	8,124,355	3,539,909	43.6
13. 住 民 登 録 費	618,535	287,074	46.4
14. 住 民 支 出 費	960,394	678,673	70.7
15. 公 諸 予 備 金	3,819,609	1,286,004	33.7
16. 諸 予 備 金	53,727,566	29,604,201	55.1
17. 諸 予 備 金	5,000,000	(1,934,051)	—
合 計	618,103,573	269,796,937	43.6

歳出の第二位は区役所費でその予算額一三三、五七四、九四三円に対し支出済額は六一、七四九、六二七円四六・二%の執行で、この主なるものは人件費及び事務経費であります。

その他の支出についても土木費、議会費、民生事業費等予算額通り順次位置してはいますが、これ等諸経費についても事務事業に順応した経理状況を示しております。

三、昭和二十九年年度特別会計  
豊島区公益質屋事業歳入  
歳出予算  
本区特別会計として設置されている公益質屋事業の本年度当初予算総額は二七、六〇五、〇四九円で、このうち本会計の目的たる貸付金は二四、四一七、〇〇〇円が計上され

と前年度繰越金中五〇〇、〇〇〇円の資金投下による元金八、一三九、〇〇〇円の年間三回転額を計上致しているのであり、本公表期間までの貸出及返還の状況は予定通り順調な成績を収めて居ります。

残余の三、一八八、〇四九円は人件費並びに業務経費等に充當いたして居ります。

科 目	予 算 額	収 入 済 額	予 算 対 比 率
(収 入)			
事業収入	27,605,049	12,757,579	46.2%
返還収入	24,417,000	10,486,350	42.9
雑収入	2,952,254	1,426,574	48.3
繰上金	235,795	844,655	358.2
歳入合計	27,605,049	12,757,579	46.2
(支 出)			
事業費	27,105,049	12,136,503	44.7
事務費	1,320,940	557,420	42.2
諸予備金	25,286,638	11,579,088	45.8
諸予備金	497,471	—	—
諸予備金	500,000	—	—
歳出合計	27,605,049	12,136,503	43.9

四、区民負担の概況

(昭和二十九年九月三十日現在)

区税調定額に対する同日現在の人口及び世帯数による負担額を算出致しますと次のとおりであります。

区税調定額 三六六、六九四、四七二円  
個人当り負担額 一、三三三円  
世帯当り負担額 二、七〇〇円  
並 帯 数 四、六九八世帯

五、昭和二十九年年度特別会計  
豊島区商工融資事業歳入  
歳出予算

む す び

以上昭和二十九年年度上半期における本区財政の概況を、御説明致しましたが冒頭で申し述べました如くデフレ政策

本特別会計は区内商工業者の経費に必要な小口強行を目的とし昨年八月一日より実施致して居りますが、本年度予算は次表の通りであります。

科 目	予 算 額	収 入 済 額	備 考
(歳 入)			
繰上金	5,000,000	5,000,000	前年度保管金繰越金
雑収入	250,000	125,000	預金利子収入
歳入合計	5,250,000	5,125,000	
(歳 出)			
諸予備金	5,250,000	5,125,000	取引信用金庫預託金
諸予備金	5,000,000	5,000,000	一般会計へ繰出金
諸予備金	250,000	125,000	
歳出合計	5,250,000	5,125,000	

六、財産及び一時借入金

現在高  
昭和二十九年九月末現在区有財産は左の通りであります。

下に於ける地方財政は極めて困難な状況に至つており本区におきましては元費の削減による経費の削減的負担により区の独立性を堅持し運営の合理化に努力いたして居る次第であります。

種 別	数 量	財 産 価 格	備 考
上 地 物	80,606*977	179,267,807円	
建 築 物	29,548*093	479,104,185	
有 価 証 券	5,882#	27,436,908	東京都馬場六 会社株券 20万円株 5枚 電信電話債券 6万円券2枚 1万円券6枚
物 品	13*	1,180,000	
物 品	96,943*	90,239,075	
合 計		777,227,975	

2 一時借入金  
本公表期間内における一時借入金は別表のとおり富士銀行より二〇、〇〇〇、〇〇〇円借入れ未返済となつており、これは本年地方税法の改正に伴い特別区民税(特別徴収)の納期延長により、ヶ月間の税収遅延を生じ、歳計現金に不足を来したため、支払資金に運用いたして居るのであります。

何卒区民各位におかれては本公表により区税の重要性を御理解され、納税に格段の御協力下さるよう御願ひ致す次第であります。